

AnyWire DB A40 シリーズ  
4 回路電力測定ターミナル  
設定ツール  
**ユーザーズマニュアル**

1.0 版 2022/09/12

## 注意事項

---

### 本書に対する注意

1. 本書は、最終ユーザまでお届けいただきますようお願いいたします。
2. 本製品の操作は、本書をよく読んで内容を理解した後に行ってください。
3. 本書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合することを保証するものではありません。
4. 本書の一部または全部を無断で転載、複製することはお断りします。
5. 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。

### 警告表示について



「警告」とは取扱いを誤った場合に死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



「注意」とは取扱いを誤った場合に障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 安全にご使用いただくために



- ◆ AnyWire製品をご使用になる場合は、万一製品に故障、不具合が発生しても重大な事故に至らない用途であり、また、フェールセーフ、バックアップ機能は弊社製品の外部でシステム構成されていることを条件とさせていただきます。
- ◆ AnyWire製品は、一般工業等の用途を対象とした汎用品として設計されており、また安全確保を目的とした制御機能を有するものではありません。  
従いまして、医療機器、原子力等発電所、鉄道、航空、安全用機器等、高い安全性が必要とされる用途については適応を除外させていただきます。
- ◆ 設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。
- ◆ AnyWireシステムは、このマニュアルに定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

# 目次

---

1	4回路電力測定ターミナル設定ツールについて.....	1-1
1.1	使用パソコン側要求仕様.....	1-1
1.2	フォルダ構成.....	1-1
1.3	接続方法.....	1-2
1.3.1	Ethernet 接続例.....	1-3
1.3.2	USB 接続例.....	1-3
2	操作方法.....	2-1
2.1	本設定ツールの起動.....	2-1
2.2	接続設定.....	2-2
2.3	設定値 読み出し.....	2-2
2.4	設定値 書き込み.....	2-2
2.5	設定値 補足事項.....	2-3
2.5.1	基本設定: 電圧上限設定値、電圧下限設定値について.....	2-3
2.5.2	基本設定: パルス出力1要素、パルス出力2要素について.....	2-3
2.5.3	回路設定: 電流測定レンジについて.....	2-3
2.5.4	回路設定: 需要電流上限値について.....	2-4
2.5.5	回路設定: 乗率データについて.....	2-4
2.5.6	回路設定: 電圧割当について.....	2-4
2.6	設定値 照合.....	2-5
2.7	GS(GateServer)設定.....	2-6
2.8	一括チェック ON/一括チェック OFF.....	2-8
2.9	基本設定・回路設定: チェック状態、設定値 初期値に戻す.....	2-9
2.10	計測値モニタ.....	2-10
2.11	4回路電力測定ターミナルファームウェアバージョン表示.....	2-13
2.12	回路間設定値コピー.....	2-13
2.13	リセット.....	2-14
2.14	中断.....	2-14
2.15	ボタンクリック時のメッセージボックス表示有無設定.....	2-15
2.16	画面表示方法変更.....	2-17
2.17	設定値保存・読み出し.....	2-18
2.17.1	設定値保存.....	2-18
2.17.2	設定値読み出し.....	2-18
2.18	終了.....	2-18
3	トラブルシューティング.....	3-1
4	変更履歴.....	4-1

## 1 4 回路電力測定ターミナル設定ツールについて

AnyWire DB A40 シリーズ A428SW-J2PW1/R(4 回路電力測定ターミナル)の設定値読み出し/書き込み、および計測値モニタを行うためのツールです。

4 回路電力測定ターミナルの仕様については、4 回路電力測定ターミナルユーザズマニュアルをご確認ください。

### 【注意事項】

4 回路電力測定ターミナル設定ツールを Ethernet 接続で使用する場合は、アクセス対象のターミナルに対して、GateServer で自動的に通信(計測値モニタなど)を行う設定を停止してください。通信を正常に行うことができません。

4 回路電力測定ターミナル設定ツールを USB 接続で使用する場合は、GateServer で自動的に通信を行う設定は停止しなくても通信可能です。(GateServer 側の通信は停止しません)

### 1.1 使用パソコン側要求仕様

4 回路電力測定ターミナル設定ツールを使用するパソコン側の要求仕様は以下となっています。

- ・Microsoft Windows10(64bit)
- ・Microsoft.NET Framework 4.5.2
- ・ディスプレイ解像度 1024 x 768 (拡大 100%) 以上

### 1.2 フォルダ構成

4 回路電力測定ターミナル設定ツール(本設定ツール)のフォルダ構成は以下となっています。

フォルダ名称	ファイル名称	説明
A428SW-J2PW1R_Tool	A428SW-J2PW1R.exe	4 回路電力測定ターミナル設定ツール 実行ファイル
	appinfo.xml	4 回路電力測定ターミナル設定ツール 設定ファイル
	Anywire.Framework.ModbusTCP.dll	Ethernet 接続用 DLL ファイル
	SLABHIDDevice.dll	USB 接続用 DLL ファイル
	SLABHIDtoSMBus.dll	
	yyyy-MM-dd.log	ログファイル ※日付ごとに作成されます
	4 回路電力測定ターミナル設定ツール操作説明書_aa.pdf	4 回路電力測定ターミナル設定ツールの操作説明書 (本ファイル) ※aa:改訂番号

### 【注意事項】

本設定ツールの 2 重起動は不可となっています。

appinfo.xml ファイルの内容を手動で変更しないようにお願いします。

## 1.3 接続方法

本設定ツールと 4 回路電力測定ターミナル(ターミナル)との接続は、以下 2 通りの接続方法があります。

- ・GateServer を介して行う Ethernet 接続
- ・ターミナルの USB コネクタへ直接接続する USB 接続

### 【注意事項】

USB 機能未搭載品/USB 機能搭載品の 2 種類存在します。

- ・USB 機能未搭載品(ロットナンバー G18G 以前)
- ・USB 機能搭載品 (ロットナンバー G19 以降)

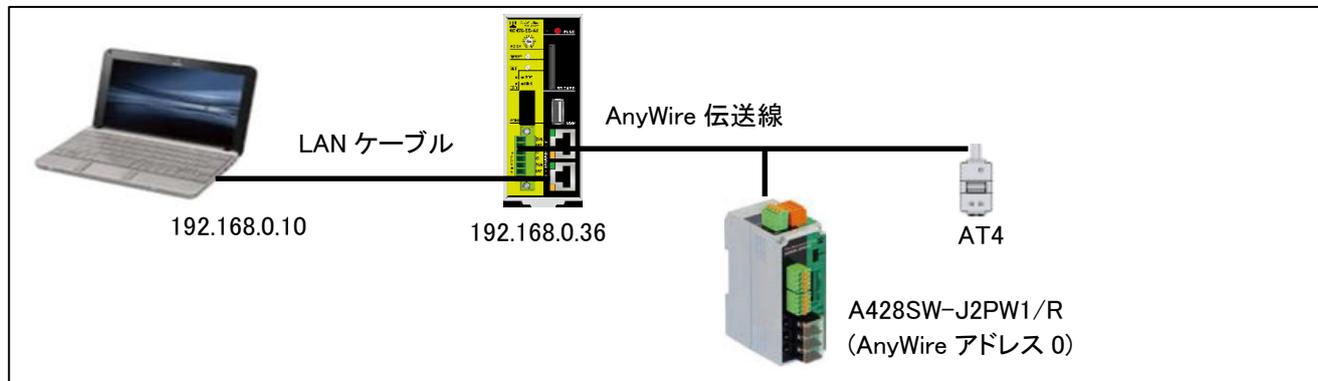
USB 接続を行うには、USB 機能搭載品のターミナルをご使用ください。

Ethernet 接続と USB 接続についての比較は以下の表のようになります。

項目	Ethernet 接続	USB 接続
複数のターミナルへの 設定値読み出し/書き込み	○	△
	PC と GateServer は LAN ケーブルで 接続した状態で、本設定ツールで、 AnyWire アドレスを切り替えて実施	PC とターミナルは USB ケーブルで接 続を切り替えて実施
ターミナルへの設定値 読み出し/書き込み時の GateServer 側の通信	×	○
	GateServer 側で 自動的に通信を行う設定の 停止が必要	GateServer 側で 自動的に通信を行う設定の 停止は不要
読み出し/書き込み時間	△	○
	AnyWire 伝送速度の設定に依存する USB 接続に比べて長い	AnyWire 伝送速度の設定に依存しない Ethernet 接続に比べて短い
リセット	○	○
	対応	対応
計測値モニタ	○	○
	対応	対応

### 1.3.1 Ethernet接続例

PC と GateServer を LAN ケーブルで接続して、Modbus/TCP 通信によりターミナルにアクセス(読み出し/書き込み)を行います。

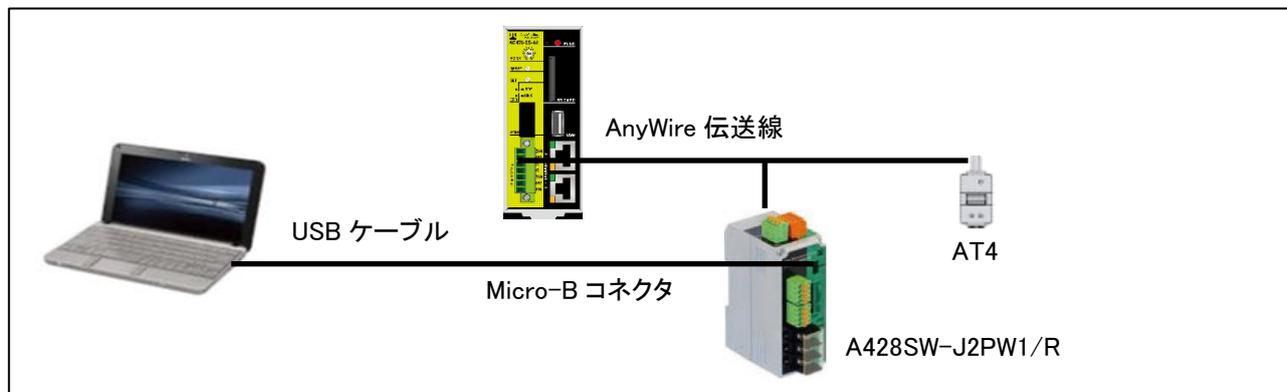


#### 【注意事項】

ターミナルへの書き込み中に USB 接続、あるいは他の PC から同じターミナルに対して書き込みをしないでください。読み出しについては Ethernet 接続、USB 接続からの同時通信は可能です。

### 1.3.2 USB接続例

PC とターミナルを USB ケーブルで接続して、USB 通信によりターミナルにアクセス(読み出し/書き込み)を行います。



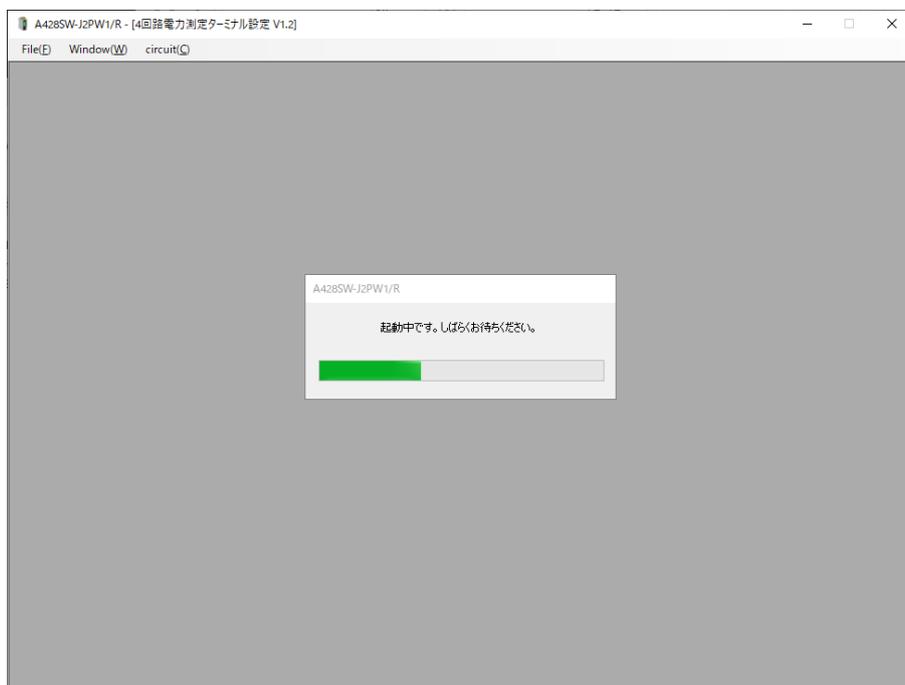
#### 【注意事項】

ターミナルへの書き込み中に Ethernet 接続、あるいは他の PC から同じターミナルに対して書き込みをしないでください。読み出しについては Ethernet 接続、USB 接続からの同時通信は可能です。

## 2 操作方法

### 2.1 本設定ツールの起動

本設定ツール(A428SW-J2PW1R.exe)を実行します。



起動中画面です。  
しばらくお待ちください。



起動完了画面(初回)

## 2.2 接続設定

本設定ツール画面に「接続設定」があります。

Ethernet 接続の場合は、「Ethernet 接続」を選択し、GateServer の IP アドレス、ターミナルの AW(AnyWire)アドレス (0~63)を設定してください。

USB 接続の場合は、「USB 接続」を選択してください。

The screenshot shows a dialog box titled "接続設定" (Connection Settings). It has two radio buttons: "Ethernet接続" (selected) and "USB接続". The "Ethernet接続" option is selected, and the "IPアドレス" (IP Address) field contains "192.168.0.36". The "AWアドレス" (AW Address) field contains "0".

Ethernet 接続選択時

The screenshot shows the same "接続設定" dialog box, but now the "USB接続" radio button is selected. The "IPアドレス" field is now disabled and contains "192.168.0.36". The "AWアドレス" field is active and contains "0".

USB 接続選択時

## 2.3 設定値 読み出し

本設定ツール画面に「読出/書込」があります。

「読み出し」ボタンを押すことで、ターミナルの設定値「基本設定、回路 1~4 設定」の「チェック ON」の要素に対して読み出しを行います。

読み出した基本設定の「相線」の設定値により、無効となる回路についての読み出しは実施しません。

例)相線:三相 3 線 2 回路の場合、回路 2 設定、回路 4 設定は無効のためチェック ON でも読み出しは実施しません。

## 2.4 設定値 書き込み

本設定ツール画面に「読出/書込」があります。

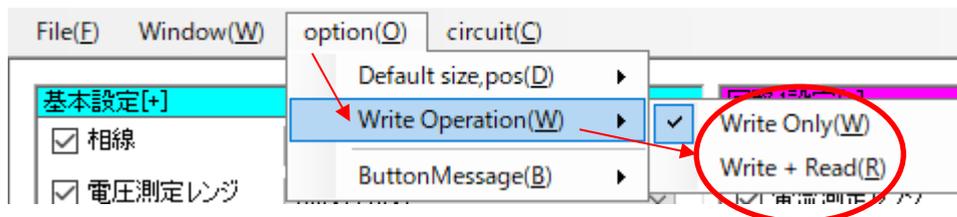
「書き込み」ボタンを押すことで、ターミナルの設定値「基本設定、回路 1~4 設定」の「チェック ON」の要素に対して書き込みを行います。

書き込みの動作には 2 種類用意しており、メニュー「option」-「Write Operation」から

- ・「Write Only」(書き込みのみ実施) … デフォルト動作
- ・「Write + Read」(書き込み後、読み出しを実施)

で指定が可能です。

A428SW-J2PW1/R - [4回路電力測定ターミナル設定 V1.2]



書き込み動作設定は、自動保存されます

### 【注意事項】

相線設定を行うとターミナルのすべての設定値が初期化されるため、相線設定を行う場合は他の全設定も行うようにしてください。

## 2.5 設定値 補足事項

### 2.5.1 基本設定: 電圧上限設定値、電圧下限設定値について

「電圧上限設定値」「電圧下限設定値」の表示は「パーセント[電圧値]」で、表示される電圧値は、電圧測定レンジ×パーセントの値となります。

(補足事項)

本要素名称にマウスを合わせると以下コメントが表示されます。

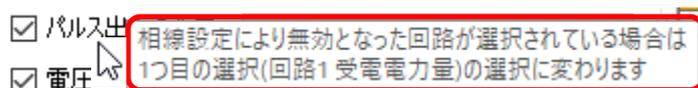


### 2.5.2 基本設定: パルス出力1要素、パルス出力2要素について

「パルス出力1要素」「パルス出力2要素」の表示は、「相線」の設定により有効な回路のみとなります。無効となった回路が選択されている場合は、「回路1: 受電電力量」の選択に変わります。

(補足事項)

本要素名称にマウスを合わせると以下コメントが表示されます。



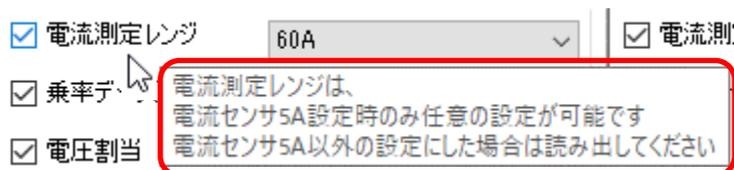
### 2.5.3 回路設定: 電流測定レンジについて

「電流測定レンジ」の設定は、電流センサ 5A 使用時に設定します。

電流センサを 5A 以外に設定した場合はターミナルにて電流センサと同じ値になりますので、読み出しを実施してください。

(補足事項)

本要素名称にマウスを合わせると以下コメントが表示されます。



電流センサにマウスを合わせたときも以下コメントが表示されます。



### 2.5.4 回路設定: 需要電流上限値について

---

「需要電流上限値」の表示は「パーセント[電流値]」で、表示される電流値は、電流測定レンジ×パーセントの値となります。

(補足事項)

本要素名称にマウスを合わせると以下コメントが表示されます。



### 2.5.5 回路設定: 乗率データについて

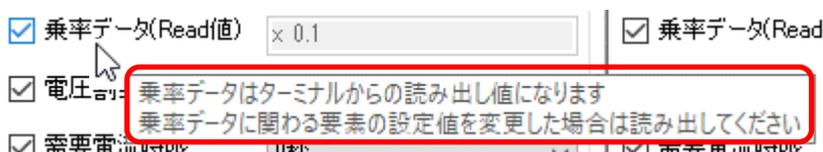
---

「乗率データ(Read 値)」は、ターミナルからの読み出し値となります。

乗率データに関わる要素の設定値を変更した場合は、読み出しを実施してください。

(補足事項)

本要素名称にマウスを合わせると以下コメントが表示されます。



### 2.5.6 回路設定: 電圧割当について

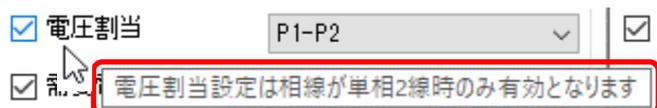
---

「電圧割当」の設定は、相線設定が 単相 2 線時のみ有効な設定になります。

相線設定を単相 2 線以外に設定する場合は、ターミナルにて本設定は使用されません。

(補足事項)

本要素名称にマウスを合わせると以下コメントが表示されます。



## 2.6 設定値 照合

本設定ツール画面に「読出/書込」があります。

「照合」ボタンを押すことで、ターミナルの設定値「基本設定、回路1～4設定」の「チェック ON」の要素に対して本設定ツールの設定値と、ターミナルの設定値とを比較(照合)し、結果を照合結果画面に表示します。

基本設定			回路1設定			回路3設定		
要素名	読み出し値	照合結果	要素名	読み出し値	照合結果	要素名	読み出し値	照合結果
相線	単相2線4回路(単相2線)	一致	電流センサ	60A	不一致	電流センサ	60A	一致
電圧測定レンジ	150V(110V)	一致	電流測定レンジ	60A	一致	電流測定レンジ	60A	一致
電圧上限設定値	OFF	不一致	乗率データ(Read値)	x 0.1	一致	乗率データ(Read値)	x 0.1	一致
電圧下限設定値	OFF	一致	電圧割当	P1-P2	一致	電圧割当	P1-P2	一致
定格電圧	110V(150V)	一致	需要電流時限	0秒	一致	需要電流時限	0秒	一致
定格周波数	60Hz	一致	需要電力時限	0秒	一致	需要電力時限	0秒	一致
接点1機能	パルス	一致	需要電流上限値	OFF	不一致	需要電流上限値	OFF	一致
接点1遅延時間	0秒	一致	需要電流上限出力	OFF	一致	需要電流上限出力	OFF	一致
接点2機能	パルス	一致	出力パルス	x 0.1kWh/pulse	一致	出力パルス	x 0.1kWh/pulse	一致
接点2遅延時間	0秒	一致						
パルス出力1乗率	回路1 受電電力量	不一致	回路2設定			回路4設定		
パルス出力2乗率	回路1 受電電力量	一致	要素名	読み出し値	照合結果	要素名	読み出し値	照合結果
電圧上限出力	OFF	一致	電流センサ	60A	一致	電流センサ	60A	一致
電圧下限出力	OFF	一致	電流測定レンジ	60A	一致	電流測定レンジ	60A	一致
			乗率データ(Read値)	x 0.1	一致	乗率データ(Read値)	x 0.1	一致
			電圧割当	P1-P2	一致	電圧割当	P1-P2	一致
			需要電流時限	0秒	一致	需要電流時限	0秒	一致
			需要電力時限	0秒	一致	需要電力時限	0秒	一致
			需要電流上限値	OFF	一致	需要電流上限値	OFF	一致
			需要電流上限出力	OFF	一致	需要電流上限出力	OFF	一致
			出力パルス	x 0.1kWh/pulse	一致	出力パルス	x 0.1kWh/pulse	一致

ターミナルから読み出した値の表示と、本設定ツールの設定値との照合結果(一致 or 不一致)を表示します。

### (補足事項)

照合結果画面を開いている状態でも、本設定ツールから読み出し/書き込みなどを実施可能です。

そのため、照合結果画面が開いている状態であることが分かるように、「読出/書込」の「照合」ボタンの背景色は青色表示になります。

### 【注意事項】

乗率データは読み出し値となるため、乗率データが変更される設定を書込み後に照合を行った場合、乗率データ不一致になります。

## 2.7 GS(GateServer)設定

本機能は、GateServer 上の計測用設定ファイル(SXXX\_mon.cfg/RXXX\_mon.cfg)をリネームすることで一時的に対象アドレスの計測を止めるために使用します。(XXX:対象アドレス)

本設定を使用するには、LAN ケーブルを接続してください。(「接続設定」は USB 接続のままでも可)

本設定ツール画面に「読出/書込」があります。

「GS 設定」ボタンを押すことで GateServer と FTP 通信を行い、計測用設定ファイルを検索し、結果を GateServer 設定画面に表示します。

GateServer と FTP 通信を行うために、GateServer の IP アドレス、ユーザ名、パスワードの入力が必要になります。

GateServerアクセス

GateServerへFTP通信を行います(通信あり)  
Sxxx\_mon.cfg/Rxxx\_mon.cfgファイルを検索します

通信設定

IPアドレス: 192.168.0.36

ユーザ名: \_\_\_\_\_

パスワード: \_\_\_\_\_

OK キャンセル

アクセスする GateServer の IP アドレス、ユーザ名、パスワードを入力します

左のリストを選択(複数選択可能)し、赤色矢印ボタンを押すと、選択したファイル名の先頭に「リネーム名」を付加した名称でリネームを実施します。

計測用設定ファイル名称ではなくなるため、対象のアドレスの計測が停止されます。

### 【注意事項】

ファイル名に使用できる文字は、『半角英数』『- (ハイフン)』『\_ (アンダーバー)』です。

使用できない文字を設定された場合の動作は保証しません。

リネーム名称のファイルがすでに存在する場合、上書きされます。

右のリストを選択(複数選択可能)し、青色矢印ボタンを押すと、選択したファイル名から「SXXX\_mon.cfg/RXXX\_mon.cfg」を抜き出した名称でリネームを実施します。

計測用設定ファイル名称となるため、対象のアドレスの計測が開始されます。

GateServer設定

GateServer内のファイル(Sxxx\_mon.cfg/Rxxx\_mon.cfg)の名前をリネームすることで対象アドレスの計測を停止します。  
また、リネームしたファイルを元のファイル名に戻すことで対象アドレスの計測を開始します。

計測中(Sxxx_mon.cfg/Rxxx_mon.cfg)		計測停止(Sxxx_mon.cfg/Rxxx_mon.cfg)	
対象アドレス	ファイル名	対象アドレス	ファイル名
1	R001_mon.cfg	0	A428SW-J2PW1R_S000_mon.cfg
62	S062_mon.cfg	2	A428SW-J2PW1R_S002_mon.cfg
63	S063_mon.cfg	63	A428SW-J2PW1R_S063_mon.cfg

計測用設定ファイル名を表示します

計測用設定ファイルが含まれているファイル名を表示します

GateServer 情報更新ボタンを押すと GateServer 内の情報を再度取得できます

矢印ボタンによりファイルのリネームします

リネーム名は半角最大 16 文字です

リネーム名(prefix): A428SW-J2PW1R\_

## (補足事項)

GateServer 設定画面を開いている状態でも、本設定ツールから読み出し/書き込みなどを実施可能です。

そのため、GateServer 設定画面が開いている状態であることが分かるように、「読出/書込」の「GS 設定」ボタンの背景色は青色表示になります。

## 2.8 一括チェック ON/一括チェック OFF

要素の読み出し/書き込み実施有無を指定するチェックボックスを用意しています。  
要素ごとのチェックボックスをクリックすることで、「チェック ON」「チェック OFF」を切り替えることができます。  
そのほかに

- ・各設定(基本設定、回路 1~4 設定)の全要素を一括で切替
- ・全設定の全要素を一括切替を行うことができます。

**回路 1 設定[+]**

<input checked="" type="checkbox"/>	電流センサ	100A
<input checked="" type="checkbox"/>	電流測定レンジ	100A
<input checked="" type="checkbox"/>	乗率データ	x 1
<input checked="" type="checkbox"/>	電圧割当	P1-P2
<input checked="" type="checkbox"/>	需要電流時限	0秒
<input checked="" type="checkbox"/>	需要電力時限	0秒
<input checked="" type="checkbox"/>	需要電流上限値	OFF
<input checked="" type="checkbox"/>	需要電流上限出力	OFF
<input checked="" type="checkbox"/>	出力パルス	x 0.1kWh/pulse

各設定のタイトル部分をダブルクリックすることで各設定内の全要素のチェックを一括で切替することができます

[+]表示中にダブルクリック  
→全チェック OFF し [-]表示に切替

[-]表示中にダブルクリック  
→全チェック ON し [+]表示に切替

The screenshot shows the main configuration window with several panels:

- 基本設定 (-)**: General settings like phase, voltage range, and power factor.
- 回路 1 設定 (+)**: Settings for Circuit 1, highlighted with a red border.
- 回路 2 設定 (+)**: Settings for Circuit 2, highlighted with an orange border.
- 回路 3 設定 (+)**: Settings for Circuit 3, highlighted with a yellow border.
- 回路 4 設定 (+)**: Settings for Circuit 4, highlighted with a green border.

At the bottom, there are buttons for "一括チェック ON" and "一括チェック OFF", both highlighted with red boxes. Other buttons include "読み出し", "書き込み", "照合", "GS設定", "初期値設定", and "モニタ".

「一括チェック ON」ボタンをクリックすることで全要素をチェック ON することができます

「一括チェック OFF」ボタンをクリックすることで全要素をチェック OFF することができます

## 2.9 基本設定・回路設定:チェック状態、設定値 初期値に戻す

---

本設定ツール画面の「読出/書込」の「初期設定値」ボタンを押すと、

- ・全要素のチェックを ON
- ・各要素の設定値を初期値（ターミナルのユーザーズマニュアルに記載の初期設定値）に設定します。

### 【注意事項】

初期設定値に戻す動作は、本設定ツールの設定値のみでターミナルとの通信は行いません。

ターミナルの設定値を初期値に戻すには、本設定ツールの設定値を初期値に戻した後、書き込みを実施してください。

## 2.10 計測値モニタ

本設定ツール画面に「読出/書込」があります。  
「モニタ」ボタンを押すことで、計測値モニタ画面を表示します。

「モニタ開始」ボタンでモニタを開始し、ボタン名称を「モニタ停止」に変更します。  
「モニタ停止」ボタンでモニタを停止し、ボタン名称を「モニタ開始」に変更します。

「計測値モニタ結果を出力する(CSV ファイル)」にチェックを入れてモニタを開始しますと、計測結果(ログ)を CSV ファイル(Monitor 年月日\_時分秒.csv)に出力します。

(補足事項)

計測結果(ログ)は最大 36000 回分となります。

モニタ開始直後	Monitor 年月日_時分秒.csv ファイルを作成し計測結果(ログ)を出力(①)
計測結果最大値まで	Monitor 年月日_時分秒.csv ファイルに計測結果(ログ)を出力(追記)(①)
計測結果最大値超えた時	Monitor 年月日_時分秒.csv ファイルの内容を Monitor 年月日_時分秒.csv_bak ファイルにコピー(①)
	Monitor 年月日_時分秒.csv ファイルの内容を破棄し、再度計測結果(ログ)を出力(②)
再度 計測結果最大値超えた時	Monitor 年月日_時分秒.csv ファイルの内容を Monitor 年月日_時分秒.csv_bak ファイルにコピー(②) この時点で①の内容は破棄される

※「年月日\_時分秒」は計測(初回)開始時点

計測を行う 回路、データアドレス(計測要素)を選択します。  
要素(現在値、最大値、最小値)にチェックを入れた項目に対して計測します。

計測結果を CSV ファイルに出力するかどうかを ON/OFF できます。

計測結果(ログ)ファイルのフォーマットは以下。

date	time	[ 70- 72]回路1 電力量(受電)		[ 81 ]回路2 力率		[ 81 ]回路2 力率		[ 81 ]回路2 力率	
		現在値	スケール値	現在値	スケール値	最大値	スケール値	最小値	スケール値
		通信データ	スケール値	通信データ	スケール値	通信データ	スケール値	通信データ	スケール値
2022/4/22	17:16:58	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:16:59	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:17:00	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:17:00	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:17:01	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:17:02	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:17:03	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:17:04	0	0	5000	1	5000	1	5000	1
2022/4/22	17:17:05	0	0	5000	1	5000	1	5000	1

### ヘッダ部分

- 1 行目 日付, 時刻, 計測要素 1 個目, , 計測要素 2 個目, . . .
- 2 行目 要素(現在値 or 最大値 or 最小値),,
- 3 行目 通信データ(10 進数),スケール値

4 行目から計測結果

ターミナルから取得した計測モニタ値は、「通信データ/スケール値」のチェックにより表示データを変更します。

- ・通信データ:ターミナルから取得したデータ
- ・スケール値:通信データに対してスケールした結果値  
スケールに用いる係数は、本設定ツールに設定されている「相線」「電圧測定レンジ」「電流測定レンジ」「乗率データ」から求めています。



モニタ中、モニタ停止中に関係なく通信データ/スケール値の切り替えを行うことができます。

モニタ中、データの更新を判断できるように、計測値の背景色が白色、黄色と交互に変わります。

計測モニタ画面の各設定(回路、データアドレス、要素、計測値モニタ結果出力するチェック有無、通信データ/スケールリング値)を「設定保存」ボタン、「設定読み出し」ボタンにより、設定ファイルに保存・読み出しをすることが出来ます。

回路	データアドレス/計測要素	要素	通信データ/スケールリング値(現在値,最大値,最小値)
回路4	[229]回路4 需要電流	<input checked="" type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
回路4	[232]回路4 需要電力	<input checked="" type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
回路4	[233]回路4 無効電力	<input checked="" type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
回路4	[234-236]回路4 無効電力量(受電 LAG)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
回路4	[237-239]回路4 無効電力量(受電 LEAD)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
回路4	[240-242]回路4 無効電力量(送電 LAG)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
回路4	[243-245]回路4 無効電力量(送電 LEAD)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
電圧	[ 4 ]電圧	<input type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
電圧	[ 4 ]電圧	<input type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	
電圧	[ 4 ]電圧	<input type="checkbox"/> 現在値 <input type="checkbox"/> 最大値 <input type="checkbox"/> 最小値	

設定読み出し      設定保存

計測値モニタ結果を出力する(OSVファイル)

通信データ/スケールリング値  
 通信データ     スケールリング値

モニタ開始

「設定保存」ボタンで、各設定を設定ファイルに保存します。

「設定読み出し」ボタンで、選択した設定ファイルから各設定を読み出します。

※保存時の相線設定と読み出し時の相線設定が異なる場合は正常に読み出せません。

※設定読み出しで、計測結果(ログ)ファイルを選択した場合はエラーメッセージが表示されます。

#### 【注意事項】

本設定ツールの「相線」設定が変更されると、計測モニタ画面の「回路、データアドレス(計測要素)、要素(現在値、最大値、最小値)」の選択がクリアされます。

#### (補足事項)

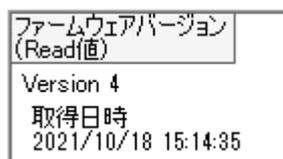
計測モニタ画面を開いている状態でも、本設定ツールから読み出し/書き込みなどを実施可能です。

そのため、計測モニタ画面が開いている状態であることが分かるように、「読出/書込」の「モニタ」ボタンの背景色は青色表示になります。

## 2.11 4回路電力測定ターミナルファームウェアバージョン表示

「読み出し」「書き込み」「照合」「モニタ開始」「リセット」を行うときに、ターミナルからファームウェアバージョンを読み出し、表示します。

表示する内容は、ターミナルのファームウェアバージョンと、取得した時間(本設定ツールを使用しているパソコンの時間)です。



Window 通常 (Normal)時  
本設定ツールの画面右下に表示します  
Window タブ (Tab)時  
本設定ツールの画面右上に表示します

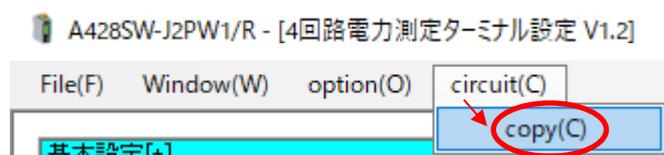
## 2.12 回路間設定値コピー

任意の回路番号の設定値を他の回路番号の設定値にコピーすることが出来ます。

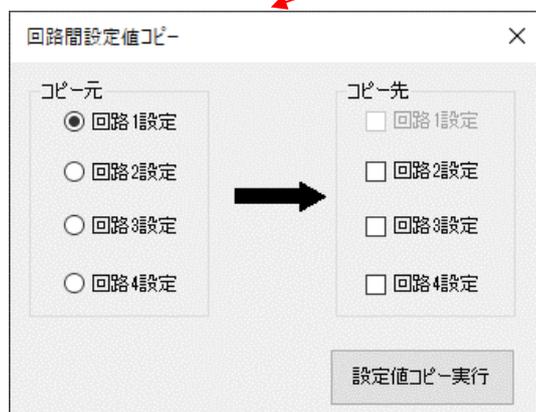
本設定ツール画面のメニュー「circuit」-「copy」を選択すると 回路間設定値コピーダイアログが表示されます。

コピー元、コピー先の回路を選択して、「設定値コピー実行」ボタンを押すと設定値がコピーされます。

(チェック ON/OFF はコピーされません)



メニュー「copy」を選択しますと  
回路間設定値コピーダイアログが  
表示されます



コピー元、コピー先の回路を指定し  
「設定値コピー実行」を押します

コピー先は複数選択が可能です

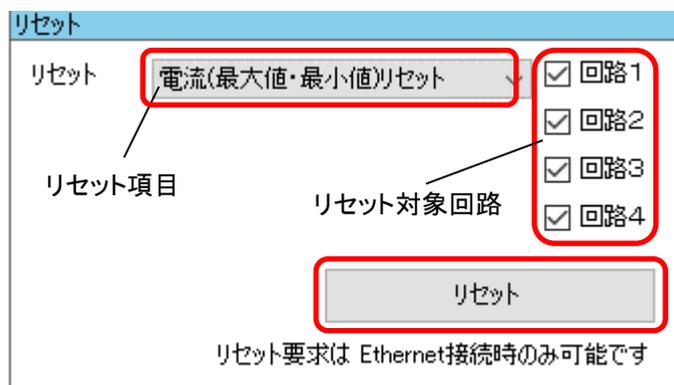
### 【注意事項】

回路間設定値コピー動作は、本設定ツールの設定値のみでターミナルとの通信は行いません。

ターミナルの回路間で設定値を合わせるには、本設定ツールで回路間設定値コピーを行ってから書き込みを実施してください。

## 2.13 リセット

本設定ツール画面に「リセット」があります。  
リセット項目、リセット対象回路を選択し、「リセット」ボタンを押すことで、ターミナルの積算値リセットを行います。



選択したリセット項目と回路に対して、  
リセットを実施します

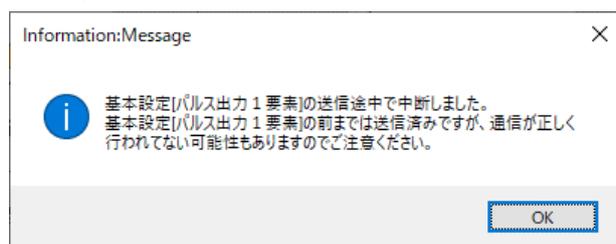
## 2.14 中断

読み出し、書き込み、照合、リセットを行っている最中に通信を中断することができます。  
「読み出し」、「書き込み」、「照合」、「リセット」ボタン押して通信を開始すると、「読出/書込」に「中断」ボタンが表示されます。



「中断」ボタンを押すと  
通信を中断します。

<中断時のメッセージ例>



### 【注意事項】

中断をする前の要素については反映された状態となります。

## 2.15 ボタンクリック時のメッセージボックス表示有無設定

ボタンクリック時は、確認メッセージボックスを表示し、確認してから対象の動作を実行します。

確認メッセージボックスを表示する/しないについては選択することができます。

メニュー「option」-「ButtonMessage」から

- ・「Enable」(確認メッセージボックスを表示する) … デフォルト動作
  - ・「Disable」(確認メッセージボックスを表示しない)
- で指定が可能です。



確認メッセージボックス表示有無とは関係なく、各ボタンにマウスポインタを合わせますと、各ボタンの説明が表示されます。

ボタン名称	確認メッセージボックス表示有/無選択	マウスポインタ合わせたときに表示する説明内容
リセット	選択可能 (オプションでの共通設定)	ターミナルに対して選択要素のリセットを行います(通信あり) チェック ON の回路番号に対して行います
読み出し		ターミナルから設定値を読み出します(通信あり) チェック ON の要素に対して行います
書き込み		本設定ツールでの設定値をターミナルに書き込みます(通信あり) チェック ON の要素に対して行います
照合		ターミナルとの設定値の照合を行います(通信あり) チェック ON の要素に対して行います 照合結果は別画面に表示します
一括チェック ON		全要素のチェックを ON にします(通信なし)
一括チェック OFF		全要素のチェックを OFF にします(通信なし)
初期設定値		本設定ツールの設定状態をターミナルの初期設定値に戻します(通信なし) 全チェック ON になります
モニタ		モニタ画面を表示します
設定値コピー実行		回路間の設定値コピーを行います(通信なし)
モニタ開始/ モニタ停止 (計測値モニタ画面)		[モニタ開始]ターミナルに対して計測値モニタを開始します(通信あり) [モニタ停止]ターミナルに対して計測値モニタを停止します(通信停止)
中断	選択不可 確認メッセージは表示しません	ターミナルとの通信を中断します

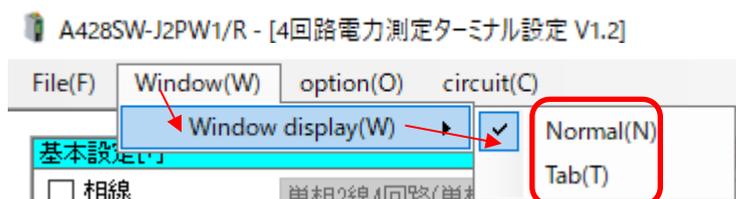
設定読み出し (計測値モニタ画面)	選択不可 ファイル選択ダイ アログを表示し ます	設定を読み出します(通信なし)
設定保存 (計測値モニタ画面)		設定を保存します(通信なし)
GS 設定	選択不可 ユーザ名、パス ワード入力画面 を表示します	GateServer と通信を行います(通信あり) SXXX_mon.cfg/RXXX_mon.cfg ファイルを検索します 結果は別画面に表示します
右矢印/ 左矢印 (GateServer 設定画 面)	選択不可 確認メッセージを 常に表示します	[右矢印]選択ファイル名をリネームして計測を停止します [左矢印]選択ファイル名をリネームして計測を開始します
GateServer 情報取 得更新 (GateServer 設定画 面)	選択不可 確認メッセージ は表示しません	GateServer と通信を行います(通信あり) SXXX_mon.cfg/RXXX_mon.cfg ファイルを検索します

## 2.16 画面表示方法変更

本設定ツール画面の大きさは「通常(Normal)」、「小さめ(Small)」の2種類選択できます。  
 小さめ(Small)は、通常の画面の高さ方向が縮みます。(幅は同じ)  
 また、各設定をタブ化することで、画面の大きさをさらに小さくできます。



大きさ設定を  
通常(Normal)、  
小さめ(Small)の2種類から  
選択できます



各設定を  
通常(Normal,1画面に表示)、  
タブ(Tab,タブごとに表示)から  
を選択できます



相線設定により無効となる回路のタブは選択不可となります

### 【注意事項】

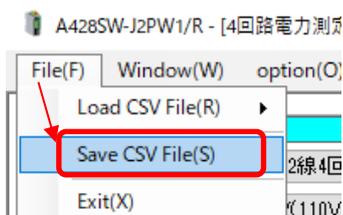
タブ表示のときは、メニュー「option」-「Default size, pos」は選択できません。  
 ディスプレイ解像度によっては本設定ツールが画面内にすべて表示できない場合があります。  
 その場合はディスプレイ解像度を上げて使用するか、タブ化表示でご使用ください。

## 2.17 設定値保存・読み出し

基本設定、回路設定のチェック状態、設定値を CSV ファイルに保存することが出来ます。  
また、保存した CSV ファイルを読み出すことで、本設定ツールに反映することが出来ます。

### 2.17.1 設定値保存

メニュー「File」-「Save CSV File」を選択しますと、ファイル保存ダイアログを表示します。  
保存先を選択、ファイル名を入力し、「保存」ボタンを押すことで保存されます。



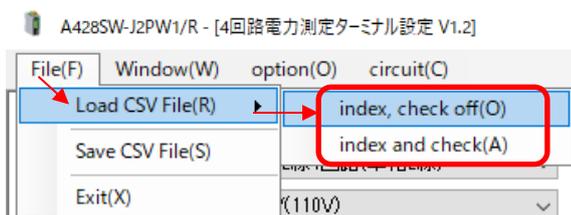
### 2.17.2 設定値読み出し

設定値読み出しは 2 種類あり、メニュー「File」-「Load CSV File」から

- ・「index, check off」(全要素チェック OFF の状態で読み出し)
- ・「index and check」(保存したチェック状態で読み出し)

で指定が可能です。

ファイル選択ダイアログにて読み出しファイルを選択、「開く」ボタンを押すことで本設定ツールに反映されます。



## 2.18 終了

本設定ツール画面の「×」を押すか、メニュー「File」-「Exit」を選択すると終了します。

終了時、

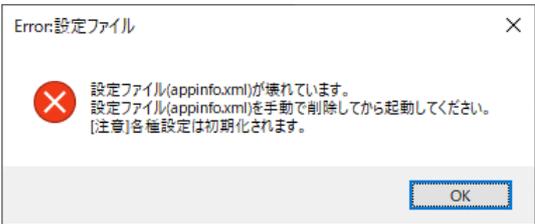
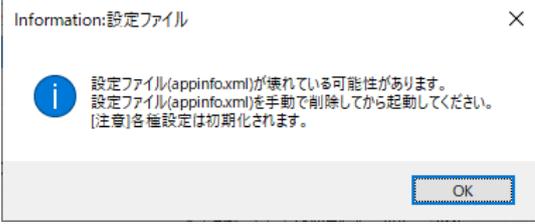
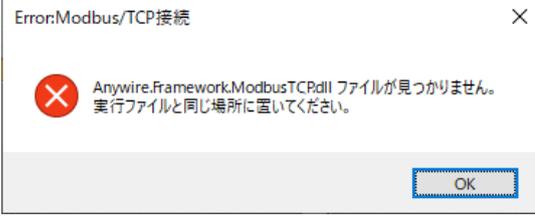
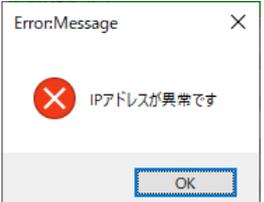
- ・全設定(基本設定、回路 1～4 設定)の全要素のチェック状態
  - ・全設定(基本設定、回路 1～4 設定)の全要素の設定値
  - ・接続設定の Ethernet 接続/USB 接続、IP アドレス、AW アドレス
  - ・本設定ツールの画面サイズ(高さ・幅)、通常/タブ
  - ・ボタンクリック時のメッセージ有/無
  - ・設定値保存・読み出し時に表示するファイル選択ダイアログの初期表示場所
  - ・計測値モニタ画面の各設定値
- を自動保存し、次回起動時に同じ状態で起動します。

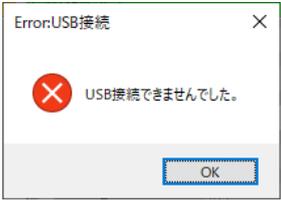
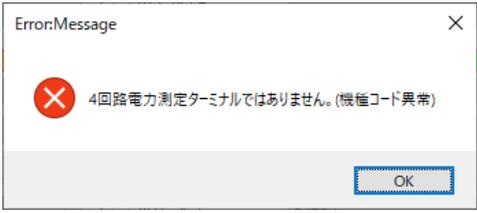
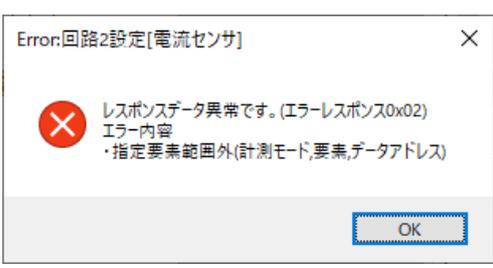
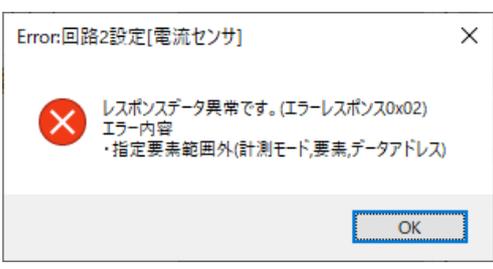
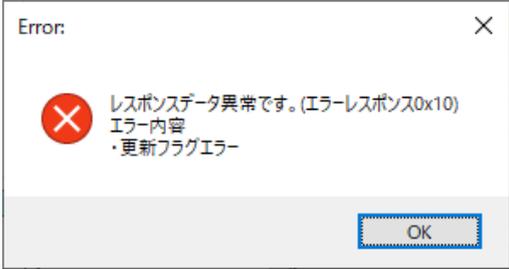
### 【注意事項】

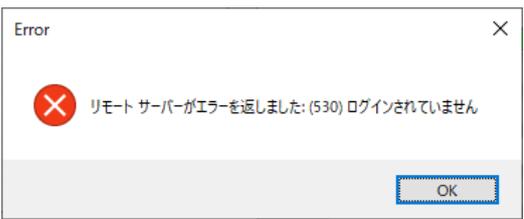
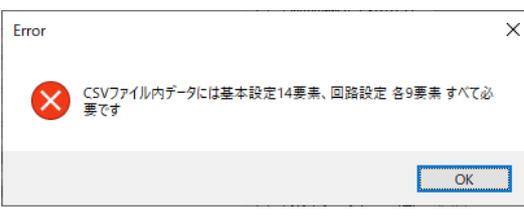
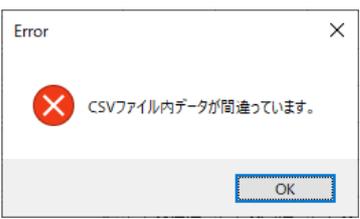
「リセット」の項目に関しては保存しません。

### 3 トラブルシューティング

エラーメッセージの原因と対処方法について記載します。

No.	エラーメッセージ	原因	対処
1		本設定ツールを 2 個以上起動しようとしています。	本設定ツールの 2 重起動はできません。
2		設定ファイルが壊れています。	手動で設定ファイルを削除後、本設定ツールを起動しなおしてください。  ※各種設定は初期化されます
3		設定ファイルに必要な設定が抜けています。	手動で設定ファイルを削除後、本設定ツールを起動しなおしてください。  ※各種設定は初期化されます
4		Ethernet 接続用 DLL ファイルがありません。	メッセージに記載の DLL ファイルを本設定ツール(実行ファイル)と同じ場所に置いて、起動しなおしてください。
5		USB 接続用 DLL ファイルがありません。	メッセージに記載の DLL ファイルを本設定ツール(実行ファイル)と同じ場所に置いて、起動しなおしてください。
6		Ethernet 接続時 AnyWire アドレスの指定が範囲外です。	Ethernet 接続時の AnyWire アドレスの指定を 0~63 にしてください。
7		Ethernet 接続時 IP アドレスが異常です。	Ethernet 接続時の IP アドレスを正しく設定してください。

No.	エラーメッセージ	原因	対処
8		Ethernet 接続時に指定した AnyWire アドレスに 4 回路電力測定ターミナルから応答がありません。	<p>4 回路電力測定ターミナルの AnyWire アドレスを確認してください。</p> <p>4 回路電力測定ターミナルの伝送速度が GateServer の設定と一致しているか確認してください。</p>
9		Ethernet 接続時 LAN ケーブル接続に問題があるか、IP アドレスが間違っています。	<p>LAN ケーブルが接続されているか確認してください。</p> <p>GateServer の IP アドレスが正しいか確認してください。</p>
10		USB 接続時 USB 接続に問題があります。	USB ケーブルが接続されているか確認してください。
11		通信を行うリモートユニットが間違っています。	<p>リモートユニットが 4 回路電力測定ターミナルか確認してください。</p> <p>対象の 4 回路電力測定ターミナルに対して GateServer 側で SQLC 通信していないか確認してください。</p>
12		4 回路電力測定ターミナルからのエラーレスポンスです。(無効となっている回路番号に対して読み出しを実施しようとしています)	相線設定を確認してください。
13		4 回路電力測定ターミナルからのエラーレスポンスです。(無効となっている回路番号に対して書き込みを実施しようとしています)	相線設定を確認してください。
14		レスポンスが正常に取得できませんでした。	<p>AnyWire 伝送を確認してください。</p> <p>複数のパソコンから同じ 4 回路電力測定ターミナルに対してアクセスしに行っていないか確認してください。</p>

No.	エラーメッセージ	原因	対処
15		GateServer との FTP 通信を行うためのユーザ名、パスワード名が間違っています。	ユーザ名、パスワード名を確認してください。
16		ファイル名変更先に同じファイル名が存在します。	リネームするファイル名を変更してください。  本設定ツール以外の手段で GateServer 内のファイル名を変更してください。
17		CSV ファイルに必要なデータが不足しています。	読み出す CSV ファイルが間違っていないか確認してください。  設定値保存を再度行ってください。
18		CSV ファイル内のデータが間違っています。	読み出す CSV ファイルが間違っていないか確認してください。  設定保存を再度行ってください。

---

## 4 変更履歴

---

バージョン	日付	変更内容
1.0	2022.09.12	

 株式会社エニワイヤ

本 社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所 1  
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所  
<http://www.anywire.jp/>

---

お問い合わせ窓口:

- テクニカル サポートダイヤル  
受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

**075-952-8077**

- メールでのお問い合わせ [info@anywire.jp](mailto:info@anywire.jp)